

It's a thing of the past, but ...

It's certain I make me feel ... a ... now ...

蒼6



蒼 6



あらすじ

ある日、ウルドが恐怖の大王として突如覚醒する。
ウルドは魔術でベルダンディーに螢一を誘惑させ、自分はスクルドを犯す。
ベルダンディーは魔術を破るが、己を失った螢一に犯される。
抵抗するベルダンディーだったが、最後には受け入れてしまう。

翌日、いつもとかわらない日常。
前日の事はベルダンディー以外は覚えていなかった。
そこに現れる魔属の波動を持った操り人形。
人形は前日行われていたベルダンディーたちの狂乱を知っていただけでなく、
彼女の過去…何者かに捕らえられ性奴隷にされていた事をネタにベルダンディーを脅す。
人形にパイプで責められ、じらされたベルダンディーは隷属を誓ってしまう。

人形は謎の男を召還し、誓いの証としてベルダンディーに男と交わらせる。
ベルダンディーは諦めたようにその男を受け入れ、その快感によがる。
その最中、突然部屋の外に螢一が来る。
室内の様子がおかしい事に気付き、ベルダンディーを心配する螢一。
今の自分を知られたくないベルダンディーは「人間には関係ない事」と彼を拒否してしまう。
去っていく螢一。

螢一との別れを覚悟し、ベルダンディーはすべてを忘れるように快楽をむさぼる。
ついには胎内に男の精を受け、果てるベルダンディー。

その翌日。
螢一の元を去ろうとするベルダンディーを、「気持ちは変わっていない」と
螢一が引きとめる。
何があっても螢一のそばにいと心に決めるベルダンディー。

その日、螢一たちは市民プールへと出かける。
更衣室に入ったベルダンディーの前に現れる謎の少年。
スクルドを人質にとって、ベルダンディーを抗えなくする。
少年に犯され、続けてともに現れた昨日の男にも犯されるベルダンディー。

その最中に目を覚ますスクルド。
目の前でベルダンディーが見知らぬ男と交わっている。
呆然とするスクルドの、その首すじに噛みつく少年。
スクルドは吸血の効果で発情させられてしまう。
その発情を鎮めるため、抵抗するスクルドを抱きとめ少年に犯させるベルダンディー。

快楽に流されたスクルドは少年のなすがままにされてしまう。
ベルダンディーも男に再び犯される。

ベルダンディーとスクルドは共に男を受け入れ快楽に悦び、
最後は同時に絶頂を迎える。

プールの前でベルダンディーを待つ螢一たち。
そこに現れるベルダンディーとスクルド。
その後ろには、少年と男がいた。

そして、今……。

登場人物

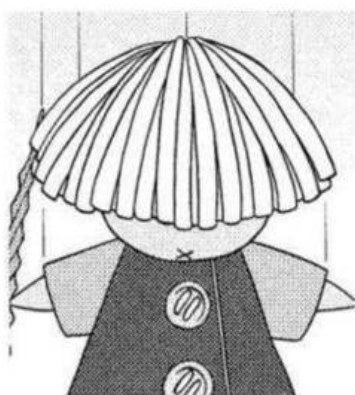
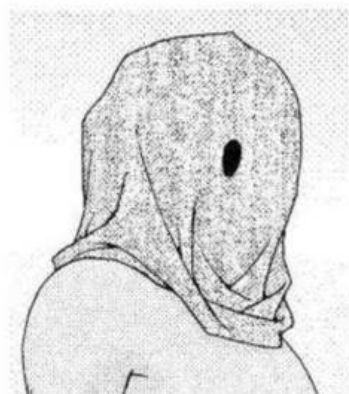


少年。 吸血の力を持つが、それ以外は謎の少年。人形と同様、ベルダンディーの過去を知っている模様。ベルダンディーに執着を持ち、その本心——隠された欲望を暴こうとするような言動をみせる。ベルダンディーが人形に隷属の誓いをした事を知っており、人形とは何らかの関係があると思われる。

男。 覆面で顔を隠しており、まったく言葉を発しない。自発的な行動をせず、意思があるのかも不明。

『人形』と『少年』の命令に従いベルダンディーを犯す役目を負う。

過去にベルダンディーと接点があるようで、『人形』からは「彼女を犯して調教した」と言われているが…。



人形。 魔属の波動を持つ。誰が操っているかは不明だが、話し方から女性と思われる。

ベルダンディーの過去を知り、それをネタに彼女を脅して隷属の誓いをさせる。

最初に『男』を召還し、ベルダンディーを襲わせた。

『少年』との関係は不明だが、どこことなく『少年』を模したような造形をしている。（本巻には未登場）

蒼6

私の望み

だめっ！

そのはずだった

こんな事は望んでいない

でも



本当は……



お姉……さま

大丈夫?

スクルド
気がついた?

…うん



あ…

あなたたち…



そうね あなたにも
紹介しなくちゃね

お姉さまっ
こいつらはっ!!



しばらくうちに
いてもらうから
仲良くしてあげて

この子は天界から
この世界のことを学びに
きたグラフさんよ

……





あの

ボク沐浴したいので
お風呂を貸して
いただけませんか？



さて

もう遅いし
今日はこれくらいに
しておこうか

はい



うん もちろん
かまわないよ



だからいっしょに
入ってもらえない
でしょうか

なっ!?

ベルダンデー
お姉さん

ボクはこの世界の
お風呂は初めて
なんです





ありがとう
ベルダンディーお姉さん

そっ

そんなのダメ

いいですよ

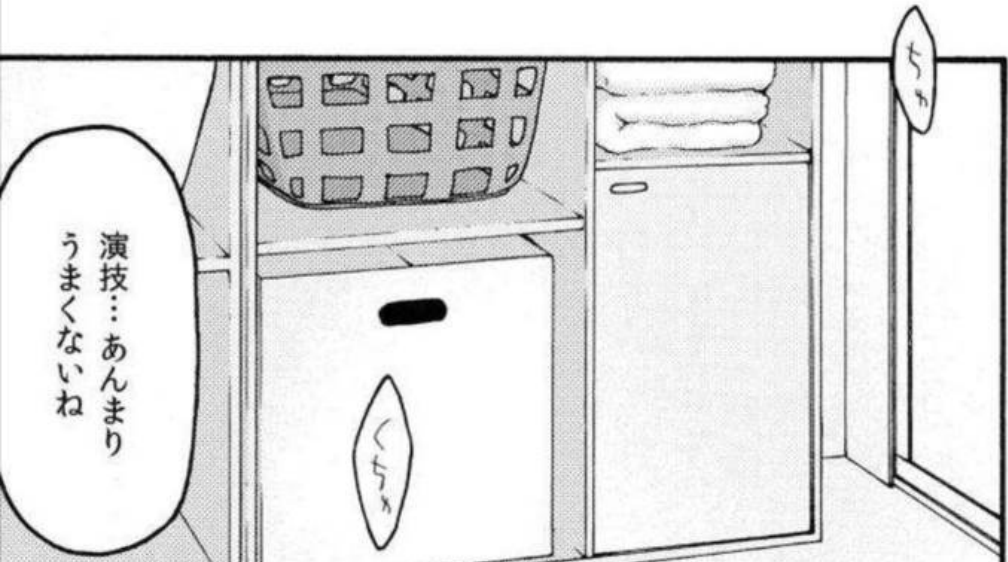
一緒に入りましょう



ぐぬう...

はたはた

あんたさ...
なに子供相手に
ムキになってるのよ



演技...あんまり
うまくないね

ベルダンディー

もつと自然に…ね

困るでしょ

もし螢一君に
バレちゃったらさ？

んん…っ

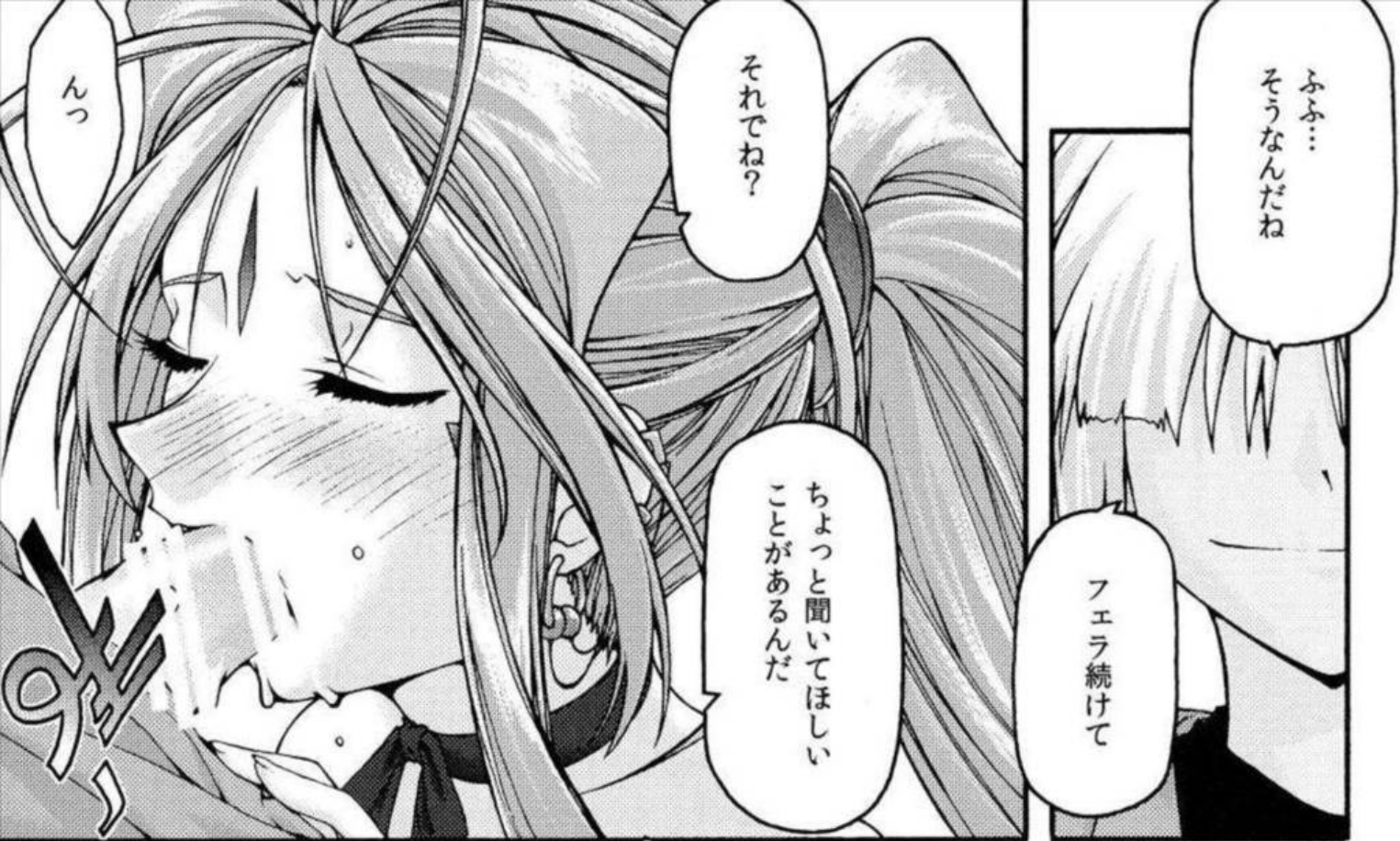
んっ

ところでひとつ
確認したいんだけど

その時
どうだった？

以前のセックスより
感じていなかった？

ベルダンディーは
ここ数日で何度か
男と交わってるよね



ふふ…
そうなんだね

それでね？

ちよつと聞いてほしい
ことがあるんだ

フェア続けて

んっ

君たち非限定の女神は
その活動内容から様々な
事象に接するわけだけど

その中には君たちの
活動の妨げになる
ようなものもあるよね

んっ

例えば病気 ウイルスや微生物
毒物などに対抗するため
天界を出て活動する者には
複合ワクチン法術が施されてる

おかげで君たちは たとえ
ウイルスに感染しても
毒に犯されても

ワクチンプログラムが
中和無効化することで
つねに万全な状態で
活動できるわけだ

んっ



そして…

ワクチン^{プログラム}法術には
避妊の効果もある

人間や魔属と
君たち神属は

確率は低いとはいえ
交配が可能だからね

…出すよ

ベルダンデー

ん!

そう全部
飲んでね

それでここからが
本題なんだけど…

君たちにかけてられている
法術は強力なものだから
ほぼ永久の効果がある

でもね
ベルダンディー

君にかけてられている
法術が壊れかけてるんだ



普通ならね

そ…

それは…どういう…

簡単に言うとなね…
君が今まで子宮に射精
されてきた精液の量が

法術の想定量をはるかに
超えてしまったせいで
術に限界が来ているのさ

だから君の避妊法術は
いつ解けてしまっても
おかしくない状態…つまり

このままボクとセックスを
続けていると君はいつ
ボクの子供を妊娠しても
おかしくないって事だよ

そ…んな…



信じられない？

知ってるはずだよ

避妊法術にはそういった行為に及ばないようにする予防の効果もあることを

つまり性欲を抑えたり性感を下げるといった抑制効果がね

どうかかな？
ベルダンデー

もう一度聞くよ？

イカされた時……
これまでにないくらい良かつたんでしょ？

昨日プールの更衣室のセックスでボクが君をじらした時……

ガマンできなかったんじゃない？

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

んんっ

あ？



提案があるんだ

いい？ なにもボクは
君を妊娠させたい
わけじゃない… だからね

この法術はバックアップが
必要な高度なものだけど
ボクのは一人でかけられる
特別製だから大丈夫

それに今の君に
選択肢はないはずだよ

避妊法術をボクが
かけなおしてあげるよ

天界でかけなおすにしても
どう言い訳するの？

避妊法術がダメになるくらい
膈内に射精されました—
なんて言えないよね

言っておくけど君が
妊娠するかもしれないけども
膈外には射精さないからね

どうするの？

もしかすると君は
今からするセックスで
ボクの子供を孕むかも
しれないんだよ？

……

んんん

ゼク

ゼク

ゼク



お願いします...

了解だ

ベルダンディー
その願い

...術を

かなえてあげるよ!

!!

X

X

まったく何を
考えているんだろうね

この体を作った奴の
趣味だと思うけど…

これ？

あなたは一体…

でも

こういう趣向も
悪くない…かな

あっ

だめえっ！





んあっ ♡

こん...な

ああっ！

や...だめっ

!!

こっ...こんなコト
どうして.....

やっ 膣内なかに
細いのが入って...

そ...んな 深くまで
どんどん...来る...っ

私の膣内…奥まで
挿げられて…

挿入って…

私の膣内に…
男性の…モノがっ

これ…同じっ

こんなこと…
どうして

ズル

まるで男の人に
されてる…みたいなの

お願い…
早く…術を

この術は避妊法術が含まれた
触手の体液を君の体内に
直接注入する事で完成する

これが必要な
手順なんだ

つまりこれから君は
この触手を膣内に挿入され
子宮に射精されるんだよ

ズ

やめるなんて
言わないよね？

挿入れるよ

あああ——っ!!!

ん…おおき…っ

太いのが…脈うって
私の膣内…奥まで
いっぱいに広げてっ

だめっ

そんな深く…子宮まで
入って…きてるっ!

だっだめ…私…

もう…ガマンが…
早く…術を…っ

じゃあいくよ?

う…んっ!

ああんっ!

新しい術をかける前に
今の壊れかけの避妊法術を
解除する必要があるわね

やっ 激しすぎ…
動かさないでっ!

だめえっ

どうしてっ 術を
注入するだけじゃ…

そのため今から術に
最大の負荷をかける

つまり避妊法術に最も
負荷がかかる瞬間に

大量の異物を
一気に注入して
術を飽和させる

まあ 射精の勢いや精液の
量がスゴイとかあるんだけど
君はその方が好きだよな

そう

君の絶頂の瞬間に精液を
子宮に注ぎ込むことで
この法術は完成する

収まりきららない量の精液を
子宮に注ぎ込まれる感覚…
想像してごらんよ

つまりこれから君は
触手に膈内射精されて
イかなきゃだめなのさ

そんなっ

この触手の精液が
君を今までにない絶頂に
導いてくれるはずだよ

ほら…この快感を
受け入れないと
術は完成しないよ？

君は言ったよね
術を頼むって

気が変わったなら
それでもいいよ？

なんなら

ここでやめても
いいんだよ?

この避妊法術

この場所にいるためには
受け入れるしかない

私には…
必要なこと

されることば
らじも同意

この触手に犯される…
私は気持ちよくされて
イカされる…それだけ

だめ…
それだけは

ここに…蜜一さんの
元に戻らなくなる

もし妊娠なんて
させられたら

もし…

絶頂の瞬間に精液を
子宮に吐き出してもらう



男性のモノではなく
触手に犯されるだけで
ほかはいつもと同じ…

イかなければ……
いけないの…っ！

されるがままになって
与えられる快感に
身をゆだねればいい…

快感を…受け入れ
求めなければ…



精液を…私の子宮に
注ぎ込んでください

イかせてください



お願いします
避妊法術を……
触手をください

いいとも
ベルダンデー

んあっ♡

たつぷりと
犯してあげる！

君もセックスを
楽しめるように

あつ…来てる

!!

んあまっ

あ…

こっ…これ
だめ…っ

早く…イかせて
…くださいっ

あああーっ!!!

じゃあこつちにも
挿入れてあげるよ

—っ!!



力を抜いて膣に
神経を集中して

わかるでしょ？
触手のかたち…

それが君の膣内の
どこをどんな風に
責めているのかも

しっかり感じ取って
触手との同期率を
上げるんだ

でない術が失敗する
こともあるからね

あつ…や

お尻…
だ…めえ…っ

はあ

力が入りすぎだよ
ベルダンデー

ほらリラックスして
触手を受け入れなきゃ

ほら何も考えないで
膣内だけを感じて

わかるはずだよ
触手のすべてが

そう…考えてはだめ…
膣内の…触手の事だけを
考えて…感じないと

激しく動きながら
太く細く…
硬く柔らかく

だめっ かきませられてる
子宮まで…めっちゃくちゃ
されてるっ！

すごい
ビクビクって
脈打ちながら
カタチ変えて…

あ…動いてる…
わかる…の？

わ…わかるっ
私わかります！

カリの大きさ…
蠢いているヒタも
私…ぜんぶわかる…

触手のカタチ…
動き…もっ

触手に…犯されてる
私の膣内…全部…っ
犯されていますっ！

お尻も…やっ
これスゴいっ！

奥まで来てる…
こんな…深い所まで

私…おなかまで
めちやくちやに
されてるっ

これ…いいですっ
お尻…犯されるの
きもちいいっ！

いいですっ！

こんなに感じるの
私…初めてです！

いきそうなんだね
ベルダンディー？

ふふふ

ベルダンディーは
アナルも一緒に犯され
るのがいいんだね

ははいっ！

すごすぎてわたし…っ
だめっ 私もうっ！

いく…私…もうだめっ
…いつちやいますっ！

いいよベルダンディー

ふふ

イかせてあげるよ

ニル

たっぷり膣内に
注ぎ込んであげるから

思いつきり
いくんだ

はっはい射精して
くださいっ!!

あっだめっ

私の子宮に…
精液…くださいっ!!

私…いくつ
イっちゃうっ!!



はあっ♡

だめえっ!!

あああああーっ!!!



あっ出て…るっ

んんっ♡

熱いの…

ふっふっ…っ…

はあんっ♡



ふふふ...

あ...



んっ...あ♥

は...

すごい...射精してる...
膣内E...こんなE
...いっぱい



ついでに法術の
動作確認も...ね

予定どおりこれから
一緒に沐浴しようか



や...あふれてきてる
すごい...私の子宮
精液でいっぱい...

は...

あっ...はあっ♥



さてベルダンディー
これでボクの
避妊法術は完成だ

だからさ



ベルダンディー



君のすべてを
見せてよ



ほら隠さないで



ガクッ

は

……

ムム



ムムム

うん

きれいだよ
ベルダンデー



どんどん身体が
熱くなって……

私…ぜんぶ
見られてる…

ついさつき 何度も
イカされたばかりなのに
私…まだ足りないの？

ガクッ

見られているだけ
なの…どうして？



犯されたい…

あれを私の膣内…
奥まで突き入れられて
…乱暴に犯してほしい



欲しくて欲しくて
…たまらない

膣内に挿入れられて
気持ちよくして
もらいたい…

あれで…



入れてほしいのかい
ベルダンディー？

!?

そんなんっ！



最後は私の一番
深いところだ…

子宮に射精されたい
って…思ってる

こんな事…好きですらない
男の人に望むなんて…
ダメなのに…私…どうして



あ…先が彼のモノが…私の入り口を拡げて…

さしこ私…



ふあっ!

ぬ…



ベルダンディー

……?



せアッ



本当の事を言いなよ

セックス…したいんでしょ?

ボクのペニスを膣内に入れて 気持ちよくしてもらいたいんでしょ?

……

さあベルダンディー
どうしてほしいの？

やめちやうよっ

答えないなら

はぁ、

だめっ！

私言いますっ！
だからお願い……っ

気持ちよくなりたい……
それが私の望みです

欲しいですっ このまま
あなたのを私の膣内に
全部入れてください！

私の身体すべて
胸もお尻も……こも
あなたに……してほしい

あなたの……モノで
私の膣内の……奥まで
……犯されたい

はぁ、
ゼク

ゼク

はぁ

膣内を…いちばん奥まで
何度も何度もめちやくちやに
犯されて…最後は—

子宮をあなたの精液で
あふれさせて
もらいたい…ですっ

それでいいんだよ
ベルダンディー

その望み

かなえてあげるよ

イクっ！

あああ—っ！！

！！

な…なに？

今の…わたし
いった…の？

こんな…ほんの少し
入れられただけで…なんて
今まで一度も…

私の膣内—どうして
こんなに熱く…敏感に
なってるの？

このまま挿入れられたら
わたし…どうなって…

んあっ!!

あああーっ!!

だめっ 入って…っ!

待ってわたし何か
おかしいんです!

そんな…ただ
入れられてるだけで…

こんなにくっくっ…
まだ半分も届いていない
くっくっなのよっ!

私…イくのガ
止まらない…っ

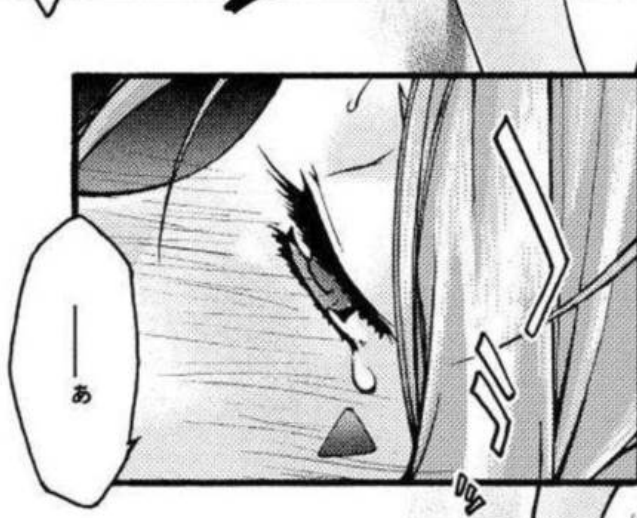
あぁっ♡

こんなに感じて…
だめっ お願い!

挿入れないでっ!!

これ…スロウ…
きもち…良すぎるっ

このまま…いちばん
奥まで挿入れられたら…
絶対おかしくなるっ!



ベルダンディー

今も君の膣内なかに入いったままの

ポケのペニスが

あああつ!!

せつ
せつ

.....あ

でもそんなに良よかったの?

ふふふ...
気絶しちやったね

はああつ♡

またいつちやったのベルダンディー?

さつきからずっとイきっぱなしなんてスゴいね

本当の君がこんなにもエロい女の子だったなんて思ってもいなかったよ

君の性感がここまでしつかり開発されてたなんて避妊びにん術じゆつを解とけなからわかなかったからね





法術で抑えられていない
本当の君なんだよ

さつきから感じている
性欲や快感こそ本来の
君が感じるはずのもの

そうさ
ベルダンディー



そ…それって—

ふふ…ベルダンディー
本当の君はこんなにも
淫乱な女だったんだね



犯されたいって

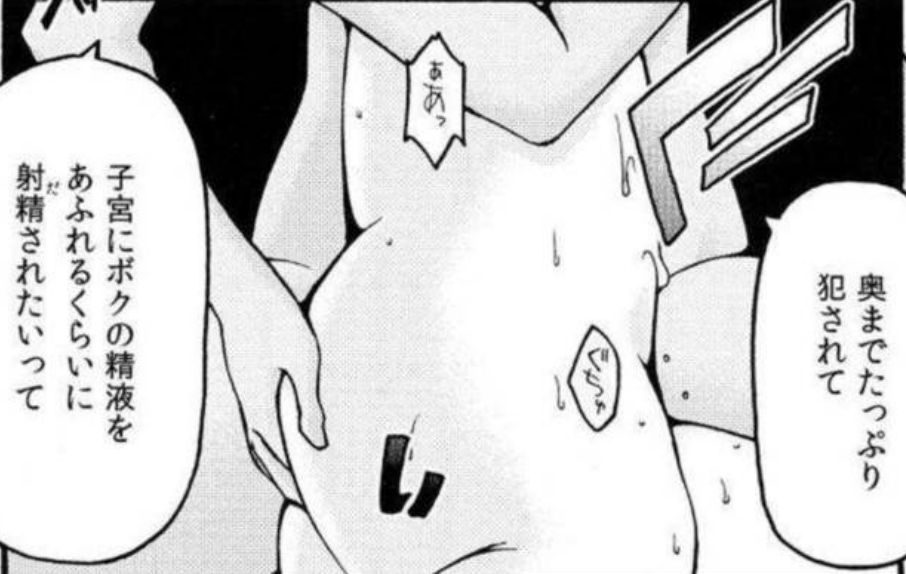
さつきボクに女神とは思えないようなスゴい
お願いしたじゃない



ゴロリ

ち…違っ

違うって
挿入れられただけで
イクようなエロい
身体してるのにな?



子宮にボクの精液を
あふれるくらいに
射精されたいって

奥までたっぷり
犯されて

それが君の
本当の望み

本来あるべき
君の姿なんだよ

膣内の動きも変わったね
膣肉が生き物みたいにな
うこめいているよ

私…こんなの
おかしくなるっ!!

そんなっ!

やっダメっ!
これスゴいっっ

あああーっ!!

膣全体がボクの
ペニスに吸い付いて
きてるみたいだ

あーんっ

あーっ

ぬいっ



そんな…っ

わっ…私はっ！

君自身もこんなに感じて
ベルダンディーは本当に
いやらしい女の子だね



男をこれだけ
悦ばせられる
開発された身体

考えてもみてよ
本来あるはずの欲求や
感覚を術で制限するのは
正しいことなのかい？



うん 君は間違っていない
おかしいのは君じゃなく
法術の方だからね
本来『ある』ものを
否定しているからね



んっ！

カッ

それは…でもっ！

この事実を君がどう
考えるのか



それは自然の摂理に
反しているよね



うんっ

そろそろきちんと
しておこうか

ベルダンデー…
君は本当の自分を
どう思っているの？

？



あ

セク

はあ

セク



君は基本的に
ボクに無理やり
抱かれてきた

自分から求めたのも
イってしまったのも
君が望んだ事じゃない

でもボクの術で本当は
君自身の望みだったと
わかったよね

開発されつくした身体と
旺盛な性欲を持ち強引な
性交を好む淫乱な女の子

それが本当の君さ
ベルダンデー

女神として認めたくない
だらうけど事実として
受けとめるべきだ

その上で君には
『ありのままの自分』で
いてほしいんだ

なぜならボクは
君を愛しているから

女神に縛られて
自分を殺している君を
見ていられないんだ

ギ
ギ
ギ
……

もし君がありのまままで
いてくれるのなら
ボクは何だってする

だけどね……

もし君が勝手な都合で
持つべき欲求や感覚を
制限する事をとし

本来あるべき
自然な自分を
否定するなら

ボクはここを
去る

そんな君には魅力を
感じないからね

でも……



もし君がすべて
認めるなら

今の君が感じている
抑圧されていない
欲求や感覚を受け入れ

自然な自分である
ことを選ぶのなら

君が望むもの
すべてを――

ボクが満たしてあげる

……



肉体的な欲望は
どうするの？

でも

君の心は
君だけのもの

精神的なつながりを
彼に求めるなら
それでもいいんだ

螢一君の事なら
心配しないで



今の君の性欲は
自慰なんかで処理できる
レベルじゃないはず

それは螢一君に
満たしてもらうのが
一番なんだろうけど

君たちはまだ
そこまでの関係じゃ
ないよね

だったら

今だけボクで
性欲を満たせばいい

あ 安心して

ボクとの関係は秘密……
君が螢一君と結ばれたら
終わりの関係だからね

でもその時までは君も
自分の性欲を満たすため
協力をしてほしいんだ

恥ずかしがったり
嫌がったりしないで
積極的に頑張ってほしい

今までのような
受け身じゃなく

君の方からボクを
求めてほしいんだ

少しの間だけボクを
心から受け入れる

……
どうだろう？
ベルダンデー

……この人の
言うとおり

もう私には

自然な欲求を
受け入れるのは
悪いことじゃない

でも…私一人では
それを鎮めることは
出来ない……なら

彼を受け入れる
しか…ない…

私…あなたのすべて
受け入れます…だから

お願い…です

ただ受け入れるんじゃなく
私から彼を求め 感じ
彼にも感じてもらう

螢一さんと結ばれるまで…
心からこの身体を彼に捧げて
心から彼の全てを受け入れて
……心から彼を求める

この欲求を…本当の私の
淫らな欲望をあなたで…
この私の膣内にあるモノで
満たさせて…ください…

契約成立だね

いいとも
君の性欲はボクが
解消してあげる

うれしいよベルダンディー
心から求め合うなんて
まるで恋人同士みたいだね

さあ

このまま君が動いて
ボクのペニスでよがる
かわいい顔を見せて

うんっ!

ん……



あああーっ!!



ベルダンディー
初めてだよね

性感が抑えられていない
すべてを感じられる
身体でするセックスは



すご…また私っ

いくう!



はいっ

私…これが
はじめてですっ!

昨日と…プールの時と
これ…ぜんぜん違うっ！

こんなに…すごいなんて
さつきからずっと…
イクの…とまらないっ！

私…こんなに感じてる…
これが本当のわたし…
本物の…セックス…！

ああ 本当に男のモノを
膣内で味わうのは
これが初めてだったね

あなたの…太さも硬さも…
先端の…張り出しの大きさも
ビクビク…脈うってるのもっ

はいっこれが…
あなたの…初めてっ
初めてなのに…っ

ぜんぶ…わかるっ！
私の膣内…あなたの
カタチに揺げられて…

わかる…私を刺激してるの…
私の膣内の…あなたのモノ…
あなたの…おちんちんっ！

元の避妊法術は
膣内の感覚や動きも
抑えていたからね

君の膣肉も昨日とは
別物みたいにくぐめいて
ボクに吸い付いてくるよ

本当の君の膣内は
こんなにも熱くて
気持ちよかったんだね

油断したら
すぐに射精して
しまいそうだよ

どうぞ…このまま
膣内に射精して…

私の身体で…気持ち
良くなってください

うん

でもいく時は
君も一緒だよ

そのいやらしい身体が
満足するようたっぷり
してあげるからね

ボクが君の性欲を
満たす—それが
契約だったよね

はい…

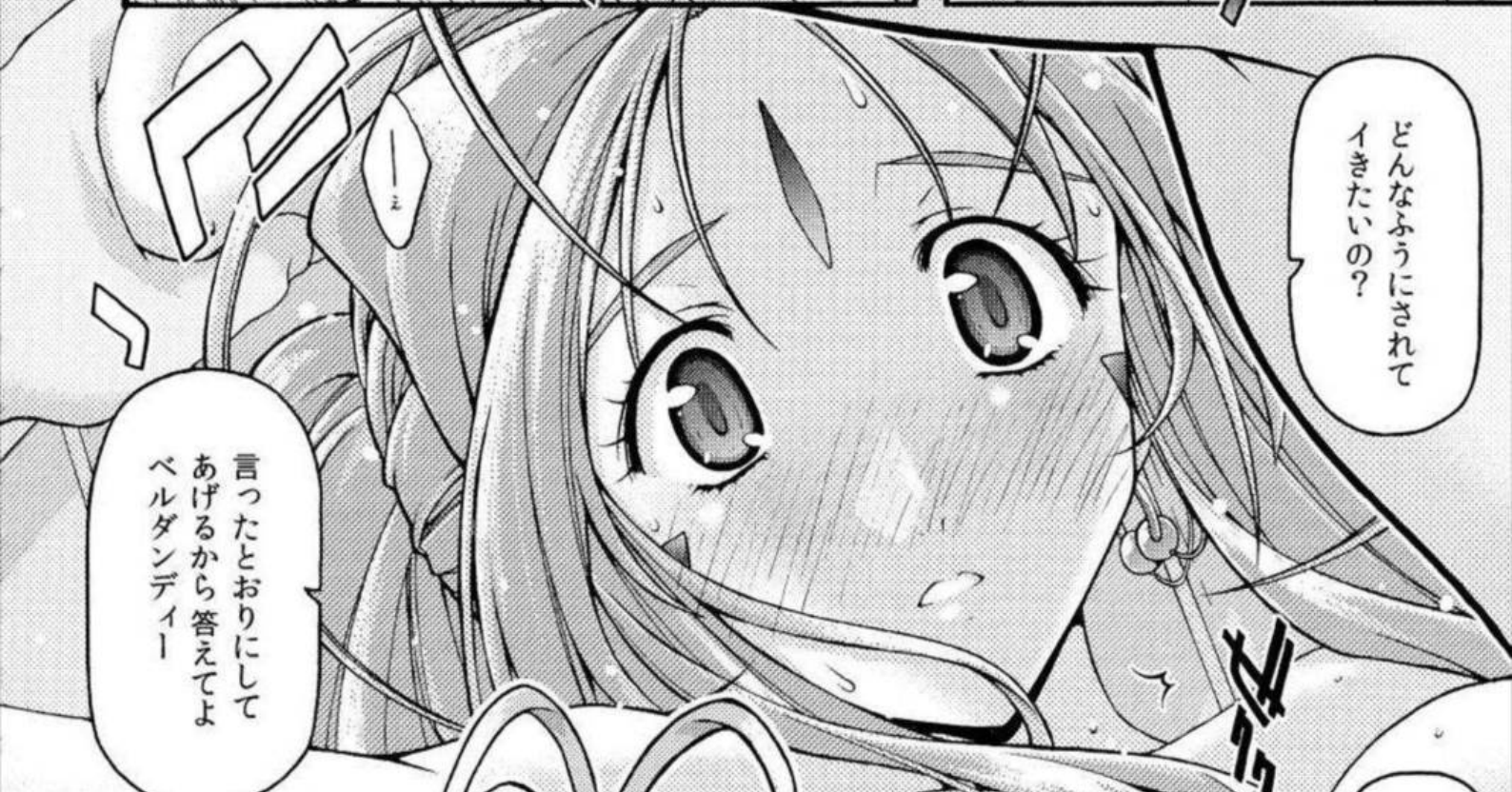
私をいっぱい…
イかせてください



あつ…んっ!



それじゃあ…さ



どんなふうになされて
イきたいの?

言ったとおりにして
あげるから答えてよ
ベルダンデー



わたしを…犯して…
イかせて…ください

………激しく
して…ほしいです



このまま普通に
いいのかい?

教えてよ

わかったよ

君を満足させるため
望みどおりこれから
毎日ずっと君を

犯してあげるよ！

んあっ♡

やっだめ…っ！

ああんっ！

あつ すこい…これ
私の膣内かきまぜてるっ

奥まで届いて…
子宮に…きてるっ！

すこい……これっ
ガマンできないっ！

犯されてるのっ！

私の膣内……ぜんぶ
犯されてますっ！

おちんちん
きもちいいっ！

ダメっ私！

私を毎日……
犯してくださいっ！

もっと……もっと
犯してください！

じゃあ
君の身体は
ボクのだよ？

心は螢一君の
ものでも身体は
ボクだけのものだ

私をあなたのものに
してください…
私の胸も…おまんこもっ

私のこの身体…
あなたに捧げます！

いいよね？
ベルダンディー

私の身体すべて…
あなたの望むままに
好きに使ってください

あなたのためなら
なんだってします

だから…

私の身体で…
いっぱい気持ちよく
なってください

じゃこれから一緒に
気持ちよくなるうか

最後はもちろん
君の大好きな
膣内射精で…ね

ボクのペニスで
君の子宮口を
押し開いて

性感の抑えられていない
子宮に直接精液を
そそぎ込んであげる

は…はいっ!

法術がなくなった
今の君ならどんなに
感じられるか…

ほら

今から君に初めての
『本当の膣内射精』を
してあげるよ

その前にひとつ
お願いがあるんだ

でも

あのね…



今から君に
妊娠してほしい

ボクの子供を
孕んでほしいんだ

え？

ああ もちろん今の君には
避妊法術があるからそういう
演技をしてほしいってこと

いわゆるプレイが
したいんだけど

どうかな？



……はい

ベルダンディー
君の避妊法術は
解けてしまっている

そして今日は危険日だ

それなのに君は今
ボクに犯されている

ナマでペニスを挿入れ
られていてボクは
もう限界だと言ってる

このままじゃ君は
孕まされてしまう

うんじゃあ
想像してみて

わかり…ました

今から君はボクの…
螢一君以外の男の
子供を妊娠するんだ

どうだい？

きまぢい…っ！

妊娠させられる…

そんな想像だけで
私の身体…今までより
もっと…もっと感じてるっ

好きでもない
人の子供を…

妊娠なんて…ダメっ！

ダメ…なのに

彼に…好きでもない人に
孕まされる…って思っ
てすっく…興奮してる

お願い…します

おわり妊娠させられる
のを想像して…とんどん
気持ちよくなってる

この人に犯されて…
子宮に射精されて…

絶対にダメなのに…
私…望んでる…

もっと気持ちよくなりたい
私…避妊技術のない子宮に
精液を注ぎ込まれたい
………そして—

このまま膣^{なか}内で
イってくださいっ！！

妊娠…させられたい

その瞬間の快感…とんなに気持ち
いいか…そのためだったら私…
孕まされてもいいって…思ってる

私…ダメっ！
本当に…欲しいっ

この人の子供…
妊娠したいっ！

私…子宮に
欲しいです…っ

せ…

いいのかい？

あなたの精液…ぜんぶ
注ぎ込んでくださいっ！

ベルダンデーはボク
の子供を孕みたいの？

はいっ！

私っ妊娠
したいですっ！

ら…

あなたの精液で私を
孕ませてくださいっ！

ああーっ！！

君の望みどおり
射精してあげる

君の子宮に
ボクの精液を

これからずっと
何度も何度も！

あーっ！！

奥に…来てるっ
—おちんちん！

すい…深…っ
あ…い…っ！

子宮に…私の子宮
…犯されてるっ！

だめっこんな
もう私…っ！



お願いですっ
っしょにっ!

も...イクっ!

キーン

あなたの精液で
イかせてください!

だめ...っ 私もう
っちやいますっ!

本当にいいんだね?

はいつください
せんぶ子宮にっ!

射精すよっ
ベルダンディー!

ズン

ぬるっ!!

わたしをイかせて...

孕ませてくださいっ!

だめっ イクう!!



はっ♡

はっ♡

あああああ——っ!!!

はっ♡

はっ♡



だめっ私イくの
止まらな…いつ!

はっ♡

はっ♡

あっ…あああ…♡

ベルダンディー
どうだった？

法術で不自然に
性感を抑えられていない
本当の君がした

初めての本物の
セックスの感想は

すべてを感じられる子宮…
そこで初めて受けとめた
本物の精液の味はどう？

わっ私…

良かった…すごくっ
気持ちよかったです

今もまだあなたが私の
子宮に精液…射精し続けて
いるの…わかります…っ

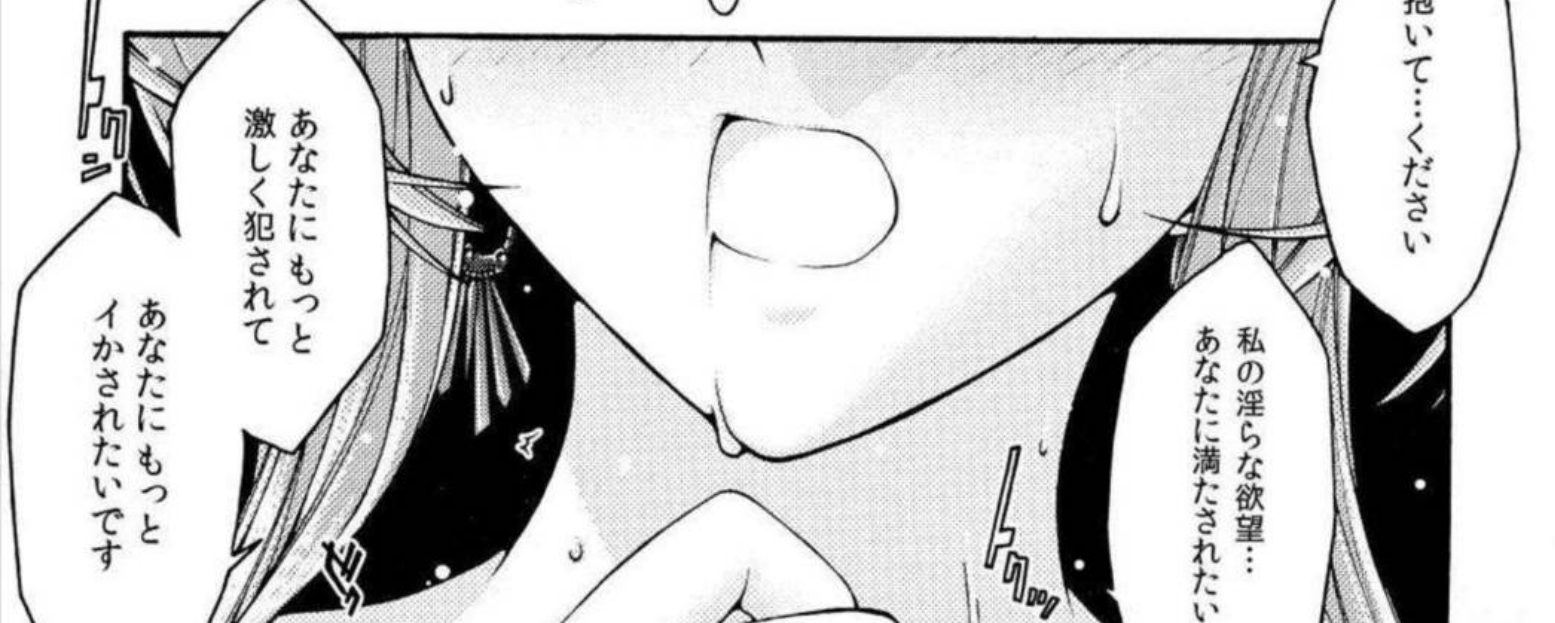
あ…すごい…私
まだ…イってる…

そう良かったね

これが…本当のセックス…
本当の絶頂…なんですね…

熱い…精液で満たされて
私の子宮…悦んでるっ

今日から君はいつでも
これを味わえるんだよ



もつともつと……
膣内に射精されたい

何度も何度もあなたの
精液で子宮を犯されて……

おかしくなるくらいの快感で
…避妊法術を…壊してほしい

そして……

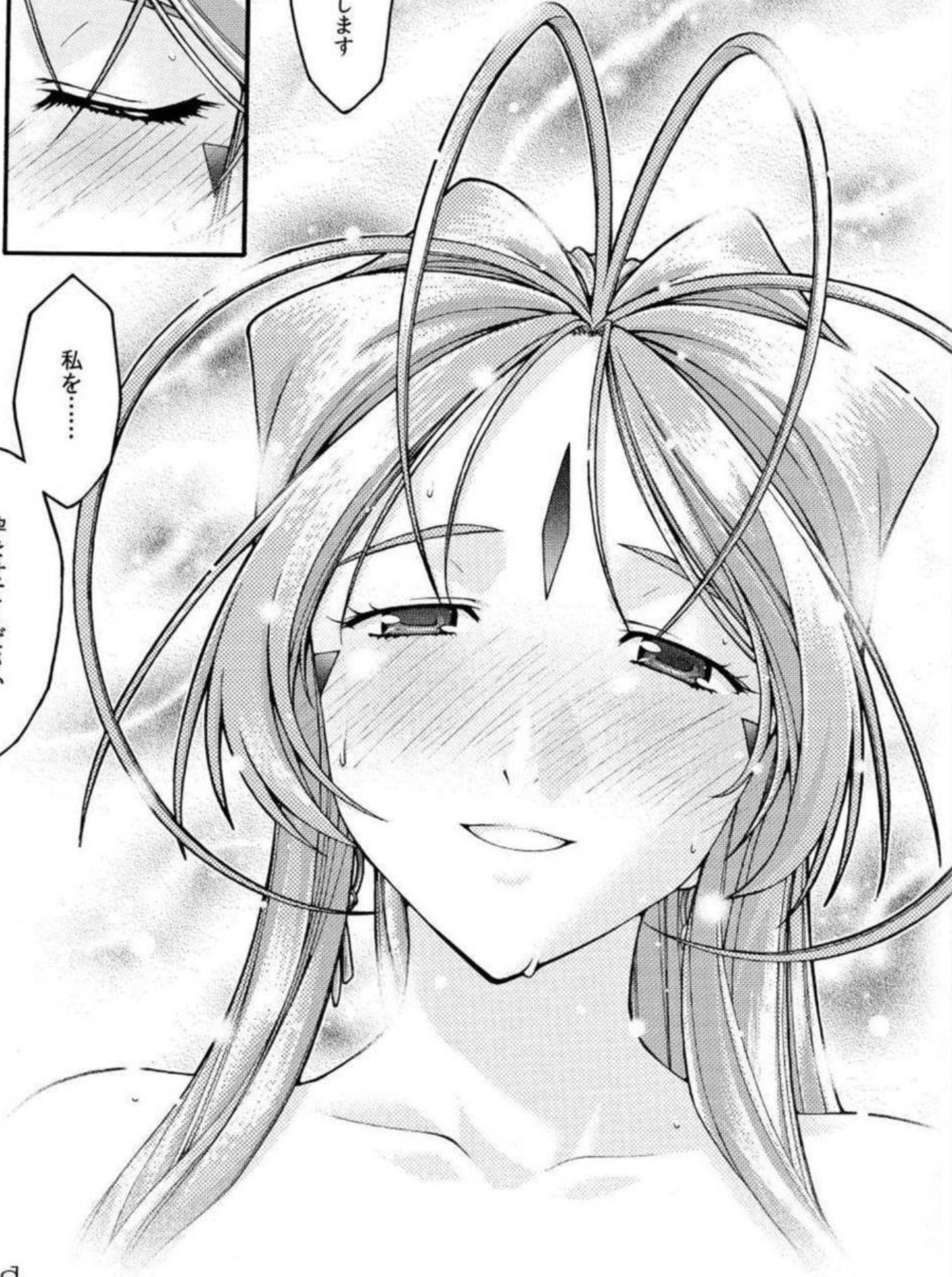
そのままあなたに犯されて……
子宮に……射精されたいです



お願い…します

私を…

孕ませてください



End

あとがき

「ああっ女神さまっ」終わってしまいましたね。
個人的には次のアニメ化いつかな～など思っていましたので、びっくりしました。
とても残念ですが、バル父が蚤一に「いつか神の力を欲して会いに来る」と
予言めいた事を言っていましたので、続編に期待しつつ
今は「パラダイスレジデンス」を楽しみにしたいなと思います。
それでは、またどこかでお会いできますように…。



| | |
|------|----------------------|
| タイトル | 蒼6 |
| 発行 | 2014年10月 |
| 著者 | 烏有あつの |
| 印刷 | 大陽出版株式会社 |
| 連絡先 | uyuatsuno@outlook.jp |

落丁、乱丁はお取りかえいたします

お願い

- 本誌は成人向けです 18歳未満の方は購入しないでください。
また、本誌管理者は本誌が18歳未満の方の目に触れないようにしてください。
- 本誌の一部または全部を著者に無断で複製、複写、転載、およびネットワークなどを通じて送信可能な状態にしないでください。

presented by sandglass

卷6



for ADULTS only

AHH! MY GOODIES